

- (2) 著者名・所属
- (3) 要旨（原著論文・総説・ミニレビュー・技術ノート）日本語 600 字以内，英語 250 単語以内。
- (4) キーワード（原著論文・総説・ミニレビュー・技術ノート）：5 つまで
- (5) 本文：適宜小見出しをつけながら，読みやすいように作成して下さい。読者には様々な分野の方がいますので，専門用語には説明をつけるなどご配慮下さい。原著論文および短報については，緒言・材料と方法・結果・考察（あるいは結果と考察）・謝辞という体裁で作成して下さい。
- (6) 引用文献（引用がある場合のみ）：本文中の引用箇所には（Tanaka and Yamada, 1986; Tanaka et al., 1986; 山田ら, 1990）といった表記で文献を指示し，本文の後に「引用文献」として以下のスタイルを参照して，筆頭著者名のアルファベット順に並べて下さい。

雑誌

森田茂紀, 萩沢芳和, 阿部 淳 1997. ファイトマーの数と大きさに着目したイネの根系形成の解析—ポット試験による根量の品種間差の解析例—. 日作紀 66: 195—201.

Bécard, G., Doude, D.D., Pfeffer, P.E. 1992. Extensive *in vitro* hyphal growth of vesicular-arbuscular mycorrhizal fungi in the presence of CO₂ and flavonols. Appl. Environ. Microbiol. 58: 821—825.

単行本

可知直毅 1996. 草本植物における最適な地上部/地下部比. 山内 章編 植物根系の理想型. 博友社, 東京. pp129—148.

Nobel, P.S. 1994. Root-soil responses to water pulses in dry environments. In Caldwell, M.M., Pearcy, R.W. eds., Exploitation of Environmental Heterogeneity by Plants. pp285—304.

- (7) 英文表題・英文著者名（原著論文・短報・技術ノート・総説・ミニレビュー）：論文の末尾（引用文献よりも後ろ）に記載して下さい。姓はすべて大文字にして下さい。
- (8) 図表：著作権・著作権を侵害するような引用・複写をしないようご注意ください。他の研究者またはご自身の既発表論文をもとにご自身で作図した場合にも，図の説明文中に（Smith et al., 1992 より改変）などの但し書きを加えてください。図表以外でも，著作権者の承諾なしに他の文献から複写したものをそのまま掲載することはできませんのでご注意ください。また，図および図中の文字の大きさは，段組 1 段文または 2 段文の幅を考慮して作成して下さい（1 ページ最大字数 2100 字，21 字／行×50 行／段×2 段）。
- (9) 原稿の分量は，短報・報告・文献紹介・研究室紹介については刷り上がり 2 ページ以内を目安にし，その他は特に分量を指定しません。
- (10) その他，詳細については，最新号をご参照ください。

根の研究 論文審査要領

(2000 年 3 月新設)

1. 編集委員長は編集委員を委嘱します。
2. 編集委員長は投稿原稿の内容に対応する編集委員を選び，審査を依頼することがあります。
3. 編集委員長あるいは編集委員は校閲者 2 名を選び，投稿原稿の校閲を依頼します。
4. 校閲結果に基づき，編集委員は論文の採否を編集委員長に答申します。
5. 投稿原稿の最終的な採否は編集委員長が決定します。採択決定日を受理日とします。
6. 修正を求めた原稿が 3 ヶ月以内に再提出されない場合は取り下げたものとみなします。
7. 採択された論文の掲載順序や体裁は編集委員長が決定します。
8. 校正は著者が行います。校正に際しては原稿の改変を行ってはいけません。